SNSツール選定理由

LINEオープンチャットの特徴

1. トークルームごとにプロフィールを設定可能です。

LINEに登録している名前とプロフィール画像は同期されず、個々に設定することができます。

1. トークルームへの招待がURLやQRコードの共有で簡単にできます。

LINEの友だち登録をしなくても、グループトークでコミュニケーションができます。

1. グループトークには最大5000人まで参加が可能です。

LINEグループでは500人までしか参加できませんが、オープンチャットでは5000人まで参加可能です。また、さらに拡張することも可能です。

1. サブトークルーム機能

1つのオープンチャットの中に複数の小トークルームを生成することができ、例えば話題別にトークルームを分けて会話することが可能です。

1. ライブトーク機能

テキストだけでなく、音声でもメンバーとリアルタイムでコミュニケーションが可能です。

1. モデレーション機能により、メンバーを管理することができます。

管理者がルールを設定したり、メンバーを管理することができます。荒らし対策やルール違反者の制御が可能です。

７．途中でグループに参加しても、過去のトーク履歴を遡ることができます。

選定理由

LINEはサービス利用者が多く、無料で参加可能であり、外部との連携がとりやすく、JCとの親和性が高いと考えます。中でもLINEオープンチャットは、管理者の移行が容易なため引継ぎがしやすく、個人情報を保護しつつコミュニケーションが取れるという観点から選定しました。

その他比較対象

○Slack

・チャンネルやスレッドの要約、検索など、AIを活用した機能

・ログイン状態の把握

・Google CalendarやTrelloなどの他のツールとの連携

・ハドル機能などの通話機能

・canvasによるナレッジの共有

・リストによるプロジェクトやタスクの管理

○Facebook

・実名登録制で、実生活に根付きやすい

・写真や動画のほか、リンクや記事、ストーリー、クイズなど、さまざまなタイプのコンテンツを投稿できる

○Discord

・招待制のサーバーでコミュニケーションが取れる

・音声とテキストの両方でやりとりが可能

・シンプルで使いやすい操作性

・メンバーの管理が楽にできる

・メッセージはデフォルトで暗号化される

・プライバシーオプションが充実している

・匿名で利用できる

